

令和6年度第3回富津市学校運営協議会（青堀小）会議録（要旨）

令和6年10月22日(火) 10時30分より
会議室(本校管理棟2階)にて

○ 出席者(敬称略)

安藤玲仁(P T A会長)、平野 武(民生児童委員)、平野恵子(主任児童委員)、
飛澤貴之(青少年相談員)、若月忠光(少年野球クラブ)、
木幡優子(図書ボランティア)、河野信成(本校校長)、佐藤紗都子(本校教諭)

以上8名

○ 概要

(1) 学校支援ボランティアについて

ア 教頭よりボランティア募集の提案

- ・前回の協議を受けて職員にアンケートを採ったところ、「学習支援」を必要としている職員が最も多く、「環境整備」や「交通安全」を必要としている職員も少なからずいることがわかった。
- ・組織的なものとはせず、その時々で必要なボランティアを募る。
- ・保険は、団体として新たに入らず、P T Aの団体保険を利用する。
- ・ボランティアの募集については、本協議会委員の皆様にもできる範囲で協力してほしい。

イ 委員からの意見

- ・市のLINEで呼びかけてもらって、ボランティアとして登録してもらうこともできるのでは？(安藤)
- ・市内の各学校にボランティアを割り振るといったコーディネートを、市でやっていただけないものか。(平野恵)
- ・現在は市外に住んでいる富津市内の学校の卒業生にも声をかけて、協力してもらうこともできるのではないか。(安藤)
- ・軌道に乗ってくれば、コーディネーターにやってもらうとして、まずは学校運営協議会委員が橋渡しの役割をすればよいのか。(平野恵)
- ・ボランティアに参加していただいた時に、LINEやtetoru等に登録してもらい、ネットワークを広げていけばよい。(平野恵)
- ・今年度中に何か一つでもボランティアに参加してもらって、今後のきっかけが作ればよいと思っている。(校長)
- ・腕章、ベスト、タオル等の目印的なものがあると、ボランティアであることがわかるのでは。(平野恵、安藤)

(2) 学校評価について

- ・保護者アンケートは5段階評価だが、児童と職員は4段階評価になっている。4段階だと、良い方に流れてしまう。児童と職員についても、5段階に合わせた方が良いのでは？（平野武）

<児童>

- ・「学校は楽しい」「悩みごと等を相談しやすい」といった項目の評価が昨年度よりも下がっているのが気になる。（平野恵）
- ・本校の児童は外遊びが好きだが、今年は暑くて外遊びができないことが多かったのも影響しているのでは？（佐藤）
- ・「友だちを大切にしている」の「思わない」が少ない(5)のに対し、「いじめをしていない」の「思わない」が多い(36)の矛盾していないか。（若月）
- ・友だち関係で先生から指導をされると、子どもたちは「いじめをしてしまった」と思ってしまう傾向がある。（佐藤）
- ・いじめは、する側に悪気がなくても、された方が「いじめられた」と感じるといじめになってしまう。（平野恵）

<職員>

- ・「教育環境の整備」が昨年度よりもかなり下がっているが…。（平野恵）
- ・校舎の老朽化に伴い、いろいろなところで不具合等が発生し、職員もかなり不満を感じている。（校長）
- ・他にも昨年度より下がっている項目が多いが、2学期、3学期と向上していくことを期待している。（校長）

<保護者>

- ・「児童」と「保護者」「職員」で、かなり見方が違うと感じる（特に「あいさつ」に関する項目等）。（飛澤）
- ・子どもと大人の基準が違うのでは？（平野恵）

○連絡

- ・第4回学校運営協議会について

期日：12月10日（火） 会場：本校会議室

内容：・学校支援ボランティアについて

・学校、地域、家庭での児童の様子について

- ・安藤会長より

次回の学校運営協議会までに、それぞれの立場で学校支援ボランティアに関して、どのような関わり(協力)が可能か、考えておいてほしい。